

文化交流を通して

世界中に英国の友人をつくる

ブリティッシュ・カウンシルの果たす役割

ジェイムズ

Jason James

ブリティッシュ・カウンシル駐日代表

各国で才能ある若い人々と交流し
英国との関わりを深めたい

英国には他のアイデアを受け入れる
風潮や寛容性といった伝統があり、そ
れが英国の持つ力となっている。もち
ろん、人種差別問題などがないとは言
えない。しかし、概して英国は多様な
人種や宗教を持つ人々とその文化を受
け入れてきた。

英国で最も人気のある食事は、英国
独自のフィッシュ・アンド・チップス
ではなく、南アジアの人々がもたらし
たカレーだ。おもしろいことに、最近
行なわれた調査では、チキン・ティッ
カ・マサラ・カレーが最も人気の高い
メニューに選ばれた。

では、異文化との交流はどのような



英国で高い人気を誇るチキン・ティッカ・マサラ・カレー。スパイスで漬け込んだチキンを釜で焼き上げ、トマトやタマネギなどと炒めてつくる。実は英国生まれの「カレー料理」

写真提供：筆者（以下も同じ）

役割を果たすのだろうか。英国の文化
交流政策の歴史は古く、公的な国際文
化交流機関であるブリティッシュ・カ
ウンシルは、2009年には創立75周
年を迎える。私たちは世界各国で才能
ある若い人々と交流し、彼らと英国と
の関わりを深めたいと考えている。特
に世界中で、専門家同士をひきあわせ、
多様なネットワークを築くことに力を
注いでいる。文化交流の成果を数値化
することは難しいが、私たちは、确实

に英国に新たなパートナーシップやア
イデアをもたらしている。

クリエイティブ産業の発展には
異文化との交流が欠かせない

文化交流は、英国の産業の発達にも
欠かせないものとなっている。例えば、
英国では製造業、つまり「ものづくり」
の相対的な位置づけの低下とともに、
クリエイティブ産業など、知的創造性
が原動力となる業種の成長が著しい。
クリエイティブ産業には、広告、デザ
イン、舞台芸術、ソフトウェア業界、
マスコミなど、13分野が含まれる。こ
れらの業種は、異文化の間の知識の交
換や共有に頼るところが大きい。

例えば、ブリティッシュ・カウンシ
ルでは、英国の芸術家が日本でパート
ナーを探すのを仲介し、芸術家の国際
的な評判を高め、キャリアを形成する
手助けをする。それが、ひいては、国
内のクリエイティブ産業の発展につな
がっていく。

『アート政策に関するマックマスター
報告書』によると、「国際化は、芸術
家などが自分たちが手がける仕事をグ
ローバルな環境のなかでとらえ、世界
的な権威を保持するためには欠かせな

ジェイムズ・ジェイムズ
●英国エジンバラ生
まれ。ケンブリッジ大
学キングス・カレッジ
日本学科を荣誉ファ
ーストクラスで卒業。H
SBC株式会社ストラテ
ジスト、ケンブリッジ大
学日本学科指導教官等
を経て現職。英国では
歌手としても活動



